

都道府県・政令指定都市名	02 仙台市
--------------	--------

時点:2022年4月1日(特に記述のある場合を除く)

問1 男女共同参画・女性問題に関する事務を総合的に所管する組織

局 部 課 (室) 名	市民局 市民活躍推進部 男女共同参画課
担 当 職 員 数	8 人 (専任 8 人、兼任 0 人)

問2 国の「男女共同参画推進本部」に相当する本庁の連絡会議(推進体制)

名 称	仙台市男女共同参画推進本部		
設 置 年 月 日 (西 暦) ・ 根 拠	1989年8月28日	根拠: 仙台市男女共同参画推進条例、仙台市男女共同参画推進本部設置要綱	
長 の 役 職	市長		

問3 男女共同参画に関する諮問機関、懇談会等

機 関 ・ 会 等 の 名 称	仙台市男女共同参画推進審議会		
設 置 年 月 日 (西 暦)	2003年7月1日		
構 成 員 数	13 人	(女性 8 人、男性 5 人)	

問4 男女共同参画に関する計画

計 画 期 間 (西 暦)	2021 年 4 月 ~ 2026 年 3 月		
名 称	男女共同参画せんだいプラン2021		
改 定 ・ 見 直 し の 予 定 時 期	2026年3月	未定の場合	
1. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(以下「女性活躍推進法」という。)の推進計画と一体である	1		
2. 女性活躍推進法の推進計画と別に作成			

問5 男女共同参画に関する条例

有の場合	名 称	仙台市男女共同参画推進条例	
	公 布 日 (西 暦)	2003年3月14日	
	施 行 日 (西 暦)	2003年4月1日	
	最 終 改 正 日 (西 暦)		
	改 正 内 容		
	改正が予定されている場合、改正予定時期(西暦): 年 月		
無の場合	1. 制定等について検討中 具体的な状況:		
	2. 特に検討していない		

問6 審議会等委員への女性の登用

調査時点コード		1:2022年4月1日	2:その他(西暦)	2022年3月31日
目 標 値	(西暦) 年度まで	%		
根 拠	2023年度末までに40%を達成し、さらに向上を図る			
目標設定の対象である審議会等の範囲	男女共同参画せんだいプラン2021(期間:令和3年4月1日~令和8年3月31日)			
目標設定の対象である審議会等における登用状況	調査時点コード	2	審議会等数(135)うち女性委員を含む審議会等数(133)	
			延総委員等数(1,924)延女性委員等数(678)	女性比率(35.2)
地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等における登用状況	調査時点コード	2	審議会等数(68)うち女性委員を含む審議会等数(68)	
			延総委員等数(1,268)延女性委員等数(436)	女性比率(34.4)
法律又は政令により地方公共団体に置かなければならない審議会等における登用状況	調査時点コード	2	審議会等数(15)うち女性委員を含む審議会等数(15)	
			延総委員等数(586)延女性委員等数(167)	女性比率(28.5)
地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等における登用状況	調査時点コード	1	審議会等数(6)うち女性委員を含む審議会等数(5)	
			延総委員等数(42)延女性委員等数(10)	女性比率(23.8)
目標値以外の目標設定	目標設定の対象である全ての審議会等において、女性委員が就任していること。(女性委員不在の審議会等がないこと)			
女性登用方針	人材名簿作成の有無	1. 有 2. 無 3. 作成予定有	2	有の場合、1. 公表 2. 非公表
	人材名簿が有る場合	掲載人数	人	(年 月現在)
	そ の 他	人材育成事業の実施の有無(1. 有 2. 無)	1	
		委員の公募(1. 有 2. 無)	1	
		そ の 他	(審議会等の新規設置時、及び改選後の女性委員登用率が40%を下回る改選時に、所管課と男女共同参画課で事前協議を実施)	

問7 女性公務員の採用・登用状況

問7-1 管理職の在職状況

調査時点コード		1:2022年4月1日	2:その他(西暦)									
管理職総数		女 性 管 理 職 の 内 訳										
	(人)	うち女性管理職数(人)	女性比率(%)	部局長相当職			次長相当職			課長相当職		
				(人)	うち女性数(D)	女性比率(%)	(人)	うち女性数(F)	女性比率(%)	(人)	うち女性数(H)	女性比率(%)
	(A)=(C+E+G)	(B)=(D+F+H)	(B/A)	(C)	(D)	(D/C)	(E)	(F)	(F/E)	(G)	(H)	(H/G)
本庁	計	822	122	14.8	169	10	5.9			653	112	17.2
	うち一般行政職	436	55	12.6	116	8	6.9			320	47	14.7
支庁・地方事務所等	計	188	49	26.1	42	7	16.7			146	42	28.8
	うち一般行政職	158	28	17.7	37	4	10.8			121	24	19.8
全体	計	1,010	171	16.9	211	17	8.1	0	0	799	154	19.3
	うち一般行政職	594	83	14.0	153	12	7.8	0	0	441	71	16.1
再掲	警察関係	0	0									
	教育委員会	73	13	17.8	13	3	23.1			60	10	16.7

問7-2 職務上の地位別職員在職状況

調査時点コード		1:2022年4月1日			2:その他(西暦)		
		課長補佐 相当職 (人)	うち女性 数(人)	女性 比率(%)	係長相当職 (人)	うち女性 数(人)	女性 比率(%)
		本庁	計				1,214
	うち一般行政職				605	169	27.9
支庁・地方事 務所等	計				270	94	34.8
	うち一般行政職				211	52	24.6
全体	計	0	0		1484	432	29.1
	うち一般行政職	0	0		816	221	27.1
再掲	警察関係 教育委員会				228	92	40.4

問7-3 新規昇任者数(2021年4月1日～2022年3月31日)

		課長相当職			課長補佐 相当職			係長相当職		
		(人)	うち女性 数(人)	女性 比率(%)	(人)	うち女性 数(人)	女性 比率(%)	(人)	うち女性 数(人)	女性 比率(%)
本庁	計	91	21	23.1				143	38	26.6
	うち一般行政職	53	9	17.0				73	16	21.9
支庁・地方事 務所等	計	16	6	37.5				28	9	32.1
	うち一般行政職	14	4	28.6				27	8	29.6
全体	計	107	27	25.2	0	0		171	47	27.5
	うち一般行政職	67	13	19.4	0	0		100	24	24.0
再掲	警察関係 教育委員会	7	3	42.9				11	6	54.5

問7-4 昇任・昇格等登用の考慮要素となる事項

	勤務 成績	昇任 試験		昇格 試験		部局等の 推薦	経 年 数	遠隔地での 長期研 修(4週間 以上)	遠隔地での 勤務経験	本人の希 望	その他
		面接 のみ	面接 以外	面接 のみ	面接 以外						
課長級	○					○	◎				
補佐級											
係長級	○		○			○	◎				

問7-5 昇任・昇格試験の受験者数(2021年4月1日～2022年3月31日)

	全受験者 数(人)	女性受験 者数(人)	女性 受験率 (%)
昇任試験	861	184	21.4
昇格試験			

問7-6 女性公務員の採用状況(2021年4月1日～2022年3月31日)

	総 数 (人)	うち女性 数(人)	女性比率 (%)
全 体	397	192	48.4
うち 上級	253	95	37.5
うち一般行政職	170	66	38.8
うち 上級	144	52	36.1
うち警察関係			
うち 上級			

問7-7: 職員の通称又は旧姓の使用、明記した規定

1	1. 明記した規定があり、認めている。 2. 明記した規定はないが、運用上認めている。 3. 明記した規定がなく、運用上も認めていない。 4. 明記した規定がなく、過去に使用した事例も判断したこともない。
---	---

問7-8: 当該規定(規則、条例、別表等)の該当部分の規定

規 則 名	仙台市職員旧姓使用取扱要綱
該当部分の条文(本文)	(旧姓を使用できる文書等) 第2条 職員は、次に掲げる事項のいずれにも該当しない文書等で、かつ、総務局長が指定するものについて、旧姓を使用することができる。 (1) 法令等の規定に抵触するおそれがあるもの (2) 公権力の行使に当たる行為に関するもの (3) 職員としての身分に関するもので、対外的に使用するもの (4) 職務の遂行又は事務処理において誤解又は混乱を生じさせるおそれがあるもの

問7-9: 本庁の防災・危機管理部門への女性職員の配置状況

調査時点コード	1:2022年4月1日	2:その他(西暦)
---------	-------------	-----------

防災・危機管 理部門 職員数(人)	うち女性		うち管理 職数(人)	うち女性	
	数(人)	比率(%)		数(人)	比率(%)
36	5	13.9	9	0	0.0

問8 男女共同参画・女性のための総合的な施設の設置

名 称	仙台市男女共同参画推進センター エル・パーク仙台		愛称・通称					
設置年月日(西暦)	1987年3月30日		施設形態	2	1. 単独施設 2. 複合施設			
所在地等	郵便番号：980-8555 住 所：宮城県仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル(仙台三越定禅寺通り館)5・6階 電話番号：022-268-8300 FAX番号：022-268-8304 ホームページ：https://www.sendai-l.jp							
管理・運営主体	1. 施設管理 直営(担当部局名：) ○ 指定管理者(名称：公益財団法人せんだい男女共同参画財団) その他() 2. 事業運営 直営(担当部局名：) ○ 指定管理者(名称：公益財団法人せんだい男女共同参画財団) その他()							
職 員 数	常勤	14 人、	非常勤	5 人	予算額	2022年度	145,041	千円
主な事業	<input type="checkbox"/> 1. 広報啓発(主な事項 情報誌発行、企画展示、ホームページ更新、メール配信) <input type="checkbox"/> 2. 講座(主な事項： 男女共同推進口座) <input type="checkbox"/> 3. 相談事業(主な事項) <input type="checkbox"/> 4. 情報収集・提供(主な事項： 資料等の収集・提供) <input type="checkbox"/> 5. 苦情処理(主な事項) <input type="checkbox"/> 6. 交流促進(主な事項 男女共同参画推進せんだいフォーラム) <input type="checkbox"/> 7. 企業・NPO法人との連携・働きかけ(主な事項： 市民団体との共同事業) <input type="checkbox"/> 8. 国際交流・海外派遣事業(主な事項：) <input type="checkbox"/> 9. 調査研究(主な事項 震災が女性のライフコースに与える影響に関するパネル調査) <input type="checkbox"/> 10. その他(主な事項： 震災・復興の経験の継承)							

問8 男女共同参画・女性のための総合的な施設の設置(2件目)

名 称	仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台		愛称・通称					
設置年月日	(西暦) 2003年5月23日		施設形態	2	1. 単独施設 2. 複合施設			
所在地等	郵便番号：980-6128 住 所：宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 アエル28階・29階 電話番号：022-268-8041 FAX番号：022-268-8045 ホームページ：https://www.sendai-l.jp							
管理・運営主体	1. 施設管理 直営(担当部局名：) ○ 指定管理者(名称：公益財団法人せんだい男女共同参画財団) その他() 2. 事業運営 直営(担当部局名：) ○ 指定管理者(名称：公益財団法人せんだい男女共同参画財団) その他()							
職 員 数	常勤	21 人、	非常勤	6 人	予算額	2021年度	183,633	千円
主な事業	<input type="checkbox"/> 1. 広報啓発(主な事項 情報誌発行、企画展示、ホームページ更新、メール配信) <input type="checkbox"/> 2. 講座(主な事項： 男女共同参画推進講座) <input type="checkbox"/> 3. 相談事業 相談 法律相談、 <input type="checkbox"/> 4. 情報収集・提供(主な事項： 図書・資料等の収集・提供) <input type="checkbox"/> 5. 苦情処理(主な事項： 性別による差別などに関する相談) <input type="checkbox"/> 6. 交流促進(主な事項： 男女共同参画推進せんだいフォーラム) <input type="checkbox"/> 7. 企業・NPO法人との連携・働きかけ(主な事項： 市民団体との共同事業) <input type="checkbox"/> 8. 国際交流・海外派遣事業(主な事項：) <input type="checkbox"/> 9. 調査研究(主な事項 震災が女性のライフコースに与える影響に関するパネル調査) <input type="checkbox"/> 10. その他(主な事項： 震災・復興の経験の継承)							

問9 男女共同参画・女性関係事業を推進するための基金・財団の設立(施設の管理運営の実施団体を含む。)

名 称	公益財団法人せんだい男女共同参画財団		基金・基本財産額	200,450	千円
設置年月日(西暦)	2001年4月1日	出資者	仙台市		

問10 地方公共団体と民間団体(女性団体等)とのネットワーク

問10-1 各種女性団体連絡協議会等の有無	2	1. 有 2. 無	問10-2 名称等:	加盟団体数		
問10-3 地方公共団体からの助成・委託事業実施の有無	1	1. 有 2. 無		会 員 数		
問10-4 活 動 内 容 ※ 実施しているもの:○		1. 定例会議(情報交換会等)の開催 2. 機関誌の発行 3. 広報啓発パンフレット作成 4. その他 { 内容: }				

問11 市町村との連携及び市町村への指導・助言状況(都道府県) ※該当するもの:○

1. 担当者連絡会議の開催 2. 市区町村職員研修会の開催 3. 市区町村アドバイザー養成講座等の開催 4. 関係情報の収集提供 5. 審議会等女性登用の働きかけ 6. 補助金等の交付 { 名称 : 概要 : } 7. その他 { 内容 : }	
---	--

問12 職員研修の実績状況 ※実施しているもの:○

男女共同参画・女性問題に関する職員研修の実施

- 1. 職員向けに、男女共同参画・女性問題をテーマとした講演会、研修会等を実施
 ○ 2. 職員研修のプログラムの一部に、男女共同参画・女性問題の講義等を組み入れ
 ○ 3. 国、民間等が行う男女共同参画・女性問題に関する研修に職員を派遣
 4. 男女共同参画の観点からの防災に関する研修の実施

女性職員の研修受講への配慮

- 1. 女性職員を対象とした能力開発や管理職登用のための研修を実施
 2. 研修受講職員の男女比を配慮
 3. その他 { 内容: }

問13 担当局(部)課(室)所管の男女共同参画・女性関係予算

事 項	2021年度予算 (千円)	2022年度予算 (千円)	備 考
関係予算総額(施設整備費を除く)	666,765	670,069	
上記関係予算が一般会計予算総額に占める割合	0.1 %	0.11 %	592,893,000千円
男女共同参画・女性のための施設整備費	46,557	421,108	

問14 公共調達における男女共同参画及びワーク・ライフ・バランス項目の設定状況 ※該当するもの:○		項目の設定
1	公共工事の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	○
2	物品の購入等の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	
3	総合評価落札方式の一般競争入札を適用している場合における男女共同参画等の項目の設定	
4	その他の公共調達における男女共同参画等項目の設定(○の場合は(1)~(5)の該当項目に回答(複数回答可)してください。)	○
	(1) 指名競争入札又は随意契約により物品調達を行う際に認証している企業からの優先調達	
	(2) 清掃、設備保守業務等の競争参加資格審査における項目の設定	
	(3) 指定管理者公募選定における評価項目の設定	○
	(4) プロポーザル方式における評価項目の設定	
	(5) その他(内容:	

↓ (具体的に実施している内容:○)

	問14-1	問14-2	問14-3	問14-4
	1 公共工事の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	2 物品の購入等の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	3 総合評価落札方式による一般競争入札を実施している場合における男女共同参画等の項目の設定	4 その他の公共調達における男女共同参画等項目の設定
① 「えるぼし」認定、「くるみん」認定、「プラチナくるみん」認定、「ユースエール」認定を取得	○			
② 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)				
③ 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)	○			
④ 地方公共団体が行う男女共同参画等に関する企業の認定・認証等を取得				
⑤ 役員に占める女性割合に関する項目				
⑥ 管理職に占める女性割合に関する項目				
⑦ 役員や管理職への女性の登用促進のための取組(ポジティブ・アクション、数値目標の設定等)				
⑧ 仕事と育児・介護を両立するための取組(法定以上の育児・介護休業制度等)				
⑨ ノー残業デーの設定など労働時間縮減に向けた取組				
⑩ 短時間正社員制度の導入				
⑪ 男性の育児・家事への参画促進に向けた取組				
⑫ ワーク・ライフ・バランス関連表彰の受賞、認証実績(①~④を除く)				
⑬ その他				○

問15 男女共同参画等を推進している企業の登録・認定・認証、表彰制度の状況

		企業の登録・認定・認証制度	企業の表彰制度
企業の登録・認定・認証制度、表彰制度の実施の有無(1.有 2.無)		2	2
選定等の基準	1 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定、次世代法に基づく「くるみん」認定、「プラチナくるみん」認定又は若者雇用促進法に基づく「ユースエール」認定を取得		
	2 女性活躍推進法又は次世代法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)		
	3 役員に占める女性割合に関する項目		
	4 管理職に占める女性割合に関する項目		
	5 役員や管理職への女性の登用促進のための取組		
	6 その他「登用促進等」に関する項目		
	7 仕事と育児・介護を両立するための取組		
	8 ノー残業デーの設定など労働時間縮減に向けた取組		
	9 短時間正社員制度の導入		
	10 男性の育児・家事への参画促進に向けた取組		
	11 ワーク・ライフ・バランス関連表彰の受賞、認証実績(1、2を除く)		
	12 その他		

→	「企業の登録・認定・認証制度」の具体的な名称	
→	「企業の表彰制度」の具体的な名称	

問16 地域における女性活躍推進連携体制の構築状況

1 ある	1	→	女性活躍推進法第23条の「協議会」の具体的な名称	仙台市働く女性の活躍推進協議会
2 現在は無いが、今後検討する			上記以外の具体的な名称	

問17 男女共同参画に関するデータ集(白書等)の作成状況

問17 住民の状況や活動を男女別に明らかにすることを主たる目的とするデータ集(白書、データブック等)の公表	2	1.有 2.無	問17-1 名称
問17-1 公表周期	1. 定期 2. 不定期		定期の場合 年毎
公表主体 (※ 該当するもの:○)	1. 男女共同参画・女性問題に関する事務を総括的に所管する課(室) 2. 統計情報に関する事務を総括的に所管する課(室) 3. 男女共同参画・女性のための総合的な施設の指定管理者 4. その他 ()		

問18-1 2022年度実施予定事業

名 称	事 業 内 容 等	参加予定者数	時 期
1. 広報啓発 ・ ストップ！DVキャンペーン	国の定める「女性に対する暴力をなくす運動」期間(毎年11月12日～25日)にあわせ、各種啓発事業を集中して実施		令和4年 10月下旬 ～11月
2. 表彰 ・			
3. 講座 ・ 性暴力被害者支援スキルアップ講座	性暴力被害者に対し適切なケアとサポートができるよう専門的な知識やスキル、支援の姿勢を身に着けるための支援者養成講座を全4回実施	30名	令和4年9 月～12月
・ DV・性暴力被害者支援市民講座	DV及び性暴力被害の防止啓発及び被害者支援を目的とした市民講座を全2回実施	80名	令和4年9 月、11月
・ 男性向け家事育児等啓発講座	父親の育児等への参加を促進するとともに、職場内の育児等への理解を広めることにより、育児等と仕事を両立できる職場環境への変化を促すことを目的とした連続出前講座を全3回実施	各回6名程度	令和4年7 月～令和 5年3月
4. 相談事業 ・ 多様な性のあり方に係る居場所づくり事業	社会的偏見や差別に悩む性的少数者の方などが安心して過ごせる居場所づくり事業を実施する。 また、その中で多様な性のあり方に関する相談等に応じる。		令和4年4 月～令和 5年3月 毎月第4 土曜日 13:30～ 17:30
・ 仙台市配偶者暴力相談支援センター事業	配偶者暴力相談支援センターの機能を担う庁内及び関係機関の連携により、DVに関する相談やDV被害者の自立に向けた支援等を実施		通年
・ 女性相談	仙台市男女共同参画推進センター(エル・ソーラ仙台)において、夫婦・男女の問題・家族・人間関係・DVなど女性が抱える様々な悩みに関する相談に女性相談員が応じる事業(電話及び面接)を実施		通年
・ 男性のための電話相談	生き方や働き方、人間関係等の悩みに男性の相談員が対応する相談ダイヤルを設置		毎月第2・ 4金曜(祝 日除く) 18:00- 21:00
・ 出張型相談事業	公的機関等に相談に来ることが難しい人を対象とした出張相談を3回行うもの。	各回50名程度	令和4年8 月31日 17:00～ 21:00 同年10月 17日 10:30～ 14:30 同年12月 10日 13:00～ 17:00
5. 情報収集・提供 ・			
6. 苦情処理 ・ 性別による差別などに関する相談	男女共同参画の推進を阻害する要因による人権侵害及び市が実施する施策などについての相談や要望・苦情に対する相談窓口を設置		通年
7. 交流促進 ・ 働く女性の交流会	働く女性を対象に、啓発セミナー及び異業種ネットワーク構築を目的とした交流会を実施	60名	令和4年9 月
8. 企業・NPO法人との連携・働きかけ ・ 民間シェルター入所者支援等事業補助金の交付	仙台市内において、DV被害者向け民間シェルターを運営しているNPO法人に対し、補助金を交付		通年
9. 国際交流・海外派遣事業 ・			
10. 調査研究 ・ 女性が抱える困難に関する実態調査	女性が抱える様々な困難の実情や本市の現状の把握を目的とした調査を実施するもの。	5,000名	令和4年9 ～10月 (予定)
11. その他 ・			

問19 都道府県議会の議員の両立支援体制に関する調査

議 会 名		仙台市議会	
議員の出産を欠席事由として明記した規定(産休を含む)の有無		1. 明記した規定がある。 2. 明記した規定はないが、運用上認めている。 3. 明記した規定がなく、運用上も認めていない。 4. 明記した規定がなく、過去に事例がない。	1
(欠席事由として明記した規定がある場合について) 取得することが可能な休業期間 【参考】労働基準法 第六十五条 使用者は、六週間(多胎妊娠の場合にあつては、十四週間)以内に出産する予定の女性が休業を請求した場合においては、その者を就業させてはならない。 2. 使用者は、産後八週間を経過しない女性を就業させてはならない。ただし、産後六週間を経過した女性が請求した場合において、その者について医師が支障がないと認めた業務に就かせることは、差し支えない。		1. 労働基準法65条の産前産後期間よりも短い。 2. 労働基準法65条の産前産後期間と同等。 3. 労働基準法65条の産前産後期間よりも長い。 4. 期間の定めはない。	4
出産に係る産前産後期間を明記した規定の有無		1. 産前産後期間を明記した規定がある。 2. 産前産後期間を明記した規定はない。	2
規 則 名			
明記した規定(規則、条例、別表等)の内容			
休暇の期間の報酬について、減額の規定の有無		1. あり 2. なし 3. その他()	2
規 則 名			
明記した規定(規則、条例、別表等)の内容			
議会の欠席事由として、明記した規定の有無			
		1 明記した規定がある。 2 明記した規定はないが、運用上認めている。 3 明記した規定がなく、運用上も認めていない。 4 明記した規定がなく、過去に事例がない。	
	配偶者の出産	1	
	育児	1	
	家族の看護	1	
	家族の介護	1	
	疾病	1	
	その他	4	
議員の利用することのできる保育施設等の議会での設置・提供状況		1. 人員及び場所の設置または提供がされている。(臨時のものも含む) 2. 保育に必要な場所の設置または提供がされている。(臨時のものも含む) 3. 設置または提供する予定である。 4. なし	4
議員の利用することのできる授乳室等の議会での設置・提供状況		1. 専用の場所が設置されている。(常設) 2. 授乳等に必要な場所の設置または提供がされている。(臨時のものも含む) 3. 設置または提供する予定である。 4. なし	4
議会におけるハラスメント防止に関する取組		1. 行っている。 2. 行っていないが、今後、取組む予定である。 3. 行っておらず、今後取組む予定もない。	1
行っている取組 ※実施しているもの:○		1. ハラスメント防止に関する規定(倫理規定等)がある。 2. ハラスメントに関する議員向け相談窓口を設置している。 3. ハラスメント防止に関する議員向け研修を行っている。 4. その他 (全国市議会議長会作成の啓発動画を会派へ情報提供)	○
規 則 名			
明記した規定(規則、条例、別表等)の内容			
(ハラスメント防止に関する議員向け研修を行っている場合) 内閣府が公表した教材動画「政治分野におけるハラスメント防止研修教材」の利用		1. 利用している。 2. 利用していないが、今後利用予定である。 3. 利用していない。	
男女共同参画に関する研修(ハラスメント防止に関するもの以外)		1. 行っている。 2. 行っていないが、今後、取組む予定である。 3. 行っておらず、今後取組む予定もない。	3
議会における通称又は旧姓使用の認可の状況		1. 明記した規定があり、認めている。 2. 明記した規定はないが、運用上認めている。 3. 明記した規定がなく、運用上も認めていない。 4. 明記した規定がなく、過去に使用した事例も判断したこともない。	2
規 則 名			
条文本文			
政治分野の男女共同参画のために実施していること			

問20 地域防災計画や避難所運営に関する指針(手引き・ガイドラインを含む)への、男女共同参画担当部局又は男女共同参画センターの具体的な役割の明確な位置付け

1	1. 位置付けられた規定がある。 2. 位置付けられていない。 3. その他(不明等)
計画、指針名	市民局防災実施計画
該当部分の規定	市民局が実施する主な非常時優先業務は以下のとおりである。 (中略)仙台市男女共同参画推進センター内に、女性支援センターを設置して女性相談を実施するとともに、同センターを運営する公益財団法人せんだい男女共同参画財団と共に、被災女性のニーズの把握に努め、NPO団体等との連携を図りながら、必要な対応を行う。

調査時点コード: 2

1. 2022年4月1日 2. その他(西暦)(2022年3月31日)

1. 法律又は政令により地方公共団体に置かなければならない審議会等の委員数等

※ 現在設置していないもの、又は審議会委員の任命をおこなっていないものには設置欄に×を付しています。

設置	審議会等名 (現在設置していないもの、審議会委員の任命を行っていないものには番号の前の欄に×を記入してください)	委員総数 (人)	うち 女性委員数 (人)	女性委員の割合 (%)	備 考
	1 市町村防災会議(会長を含む)	41	7	17.1	
	市町村防災会議(委員のみ)	40	6	15.0	
	2 民生委員推薦会	14	6	42.9	
	3 国民健康保険事業の運営に関する協議会	23	4	17.4	
	4 地方社会福祉審議会	55	17	30.9	
	5 土地利用審査会	5	3	60.0	
	6 障害者に関する審議会その他の合議制の機関	29	13	44.8	
×	7 公害健康被害認定審査会				
×	8 地方港湾審議会				
×	9 土地区画整理審議会				
	10 建築審査会	7	4	57.1	
	11 開発審査会	7	3	42.9	
	12 市町村都市計画審議会	20	5	25.0	
	13 介護認定審査会	269	76	28.3	
	14 精神医療審査会	23	6	26.1	
	15 市町村国民保護協議会	43	7	16.3	
×	16 地方独立行政法人評価委員会				
	17 感染症診査協議会	12	2	16.7	
×	18 市街地再開発審査会				
	19 障害支援区分審査会	35	12	34.3	
×	20 児童福祉審議会				
	21 行政不服審査会	3	2	66.7	
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	合 計	586	167	28.5	
	女性委員0の審議会数	0			

2. 地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等の委員数等

	委員会等名	委員総数 (人)	うち 女性委員数 (人)	女性委員の割合 (%)	備 考
1	教育委員会	6	4	66.7	
2	選挙管理委員会	4	1	25.0	
3	人事委員会又は公平委員会	3	1	33.3	人事委員会
4	監査委員	4	0	0.0	
5	農業委員会	19	2	10.5	
6	固定資産評価審査委員会	6	2	33.3	
	合 計	42	10	23.8	
	女性委員0の委員会数	1			